

中間評価に当たっての主な観点について(案)

認定の基準

(共同利用・共同研究拠点の認定等に関する規定(平成20年文部科学省告示第133号)第3条より抜粋)

中間評価の主な観点

①拠点としての適格性

主な評価項目(案)

I. 拠点の概要

- 5. 運営委員会等の状況
- 8. 研究施設の研究実績等

II. 共同利用・共同研究への取組状況

- 1. 共同利用・共同研究の募集、施設の利用要領等に関する情報発信
- 4. 共同利用・共同研究に供する施設・設備及び資料等の利用状況

など

②拠点としての活動状況

II. 共同利用・共同研究への取組状況

- 2. 共同利用・共同研究課題の採択状況
- 4. 共同利用・共同研究に供する施設・設備及び資料等の利用状況
- 6. 独創的・先端的な学術研究を推進する特色ある共同研究活動

III. 共同利用・共同研究に参加する研究者に対する支援の状況

VI. ネットワーク型拠点の相乗効果

など

③拠点における研究活動の成果

V. 共同利用・共同研究による成果

など

④拠点としての貢献(最終的なアウトカム)

VII. 拠点としての貢献

(拠点を置く大学の機能強化・特色化への関わりを含む)

など

一 申請施設が、大学の学則その他これに準ずる学内規定等において位置付けられた施設であること。

二 申請施設が、研究実績、研究水準、研究環境等に照らし、当該申請施設の目的たる研究の分野における中核的な研究施設であると認められること。

三 共同利用・共同研究に必要な施設、設備及び資料等を備えていること。

四 共同利用・共同研究の実施に関する重要事項であって、申請施設の長が必要と認めるものについて、当該申請施設の長の諮問に応じる機関として、次に掲げる委員で組織する運営委員会等を置き、イの委員の数が運営委員会等の委員の総数の二分の一以下であること。

イ 当該申請施設の職員

ロ 関連研究者

ハ その他当該申請施設の長が必要と認める者

五 共同利用・共同研究の課題等を広く全国の関連研究者から募集し、関連研究者その他の申請施設以外の者の委員の数が委員の総数の二分の一以上である組織の議を経て採択を行っていること。

六 共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対し、申請施設の利用に関する技術的支援、必要な情報の提供その他の支援を行うために必要な体制を整備していること。

七 全国の関連研究者に対し、共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備及び資料等の状況、申請施設における研究の成果その他の共同利用・共同研究への参加に関する情報の提供を広く行っていること。

八 共同利用・共同研究に多数の関連研究者が参加することが見込まれること。

九 多数の関連研究者から申請施設を拠点として認定するよう要請があること。

共同利用・共同研究拠点の中間評価項目（案）

I. 拠点の概要

1. 目的・概要
2. 大学学則、大学組織規則等への記載状況
3. 組織図
4. 人員
5. 運営委員会等の状況（委員名簿、開催実績 等）
6. 予算の状況【22(23)～24年度】
（研究所の予算、共同利用・共同研究のための経費、うち運営費交付金充当額）
7. ネットワーク型拠点の各構成機関の果たすべき役割
（同一分野複数拠点の場合は、拠点の特徴、他の拠点との役割分担等を記載）
8. 研究施設の研究実績等
 - 主な研究成果
 - 競争的資金の採択状況
 - 主な受賞状況
 - 当該研究施設を利用して学位を取得した大学院生数

II. 共同利用・共同研究への取組状況

1. 共同利用・共同研究の募集、施設の利用要領等に関する情報発信
2. 共同利用・共同研究課題の採択状況【21(22)～24年度】
3. 共同利用・共同研究の参加状況【21(22)～24年度】
（所属機関数、参加人数、うち外国人、うち大学院生）
 - 学内（法人内）
 - 国立大学
 - 公立大学
 - 私立大学
 - 大学共同利用機関法人
 - 独立行政法人等公的研究機関
 - 民間機関
 - 外国の研究機関
4. 共同利用・共同研究に供する施設・設備及び資料等の利用状況等【21(22)～24年度】
 - 研究施設・設備の利用状況
（年間利用人数、共同利用人数、年間稼働可能時間、稼働時間、共同利用時間）
 - 学術資料の利用・提供・整備状況
（保有数、利用件数）
 - データベース作成・公開状況
（情報量、利用（アクセス）件数）

5. 共同研究のための研究会・シンポジウム等の実施状況【21(22)～24年度】
(形態、開催回数、参加人数)
6. 独創的・先端的な学術研究を推進する特色ある共同研究活動
7. 国公私を通じた研究者の参加を促進するための取組
8. 共同利用・共同研究を通じた特色ある人材育成の取組
9. 関連分野発展への取組
(大型プロジェクトの発案、大型プロジェクトの運営、ネットワークの構築 等)

Ⅲ. 共同利用・共同研究に参加する研究者に対する支援の状況

1. 参加する研究者への支援体制の状況
(支援業務に従事する専任職員の状況)
2. 参加する研究者の利便性向上等の環境整備の状況
(共同研究者の研究スペースの確保、宿泊施設の確保等)
3. 参加する研究者の支援のための特色ある取組
4. 拠点活動に対する全学的な支援の状況(人員、予算を含む)

Ⅳ. 関連分野の研究者コミュニティの意見の反映状況

1. 研究者コミュニティの意見や学術動向の把握への取組
2. 研究者コミュニティから寄せられた主な意見
3. 寄せられた主な意見への対応状況

Ⅴ. 共同利用・共同研究による成果【22～24年度】

1. 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数等
(論文数、インパクトファクター、出版物の発行部数 等)
2. 共同利用・共同研究による特筆すべき研究成果
3. 共同利用・共同研究活動が発展して獲得に至った競争的資金等
(制度名、支出機関、受入金額、受入期間)
4. 共同利用・共同研究の成果に関する一般公開等の開催状況

Ⅵ. ネットワーク型拠点の相乗効果

Ⅶ. 拠点としての貢献(最終的なアウトカム)

(参考)

拠点を置く大学(法人)の機能強化・特色化への関わり

(備考) 波線は、共同利用・共同研究拠点の実施状況報告書及び研究活動等状況調査に含まれない項目を示す。